



先日、いつも通りに保育園、学童と迎えに行き、子どもたちと帰路についている最中に私自身の体調が悪くなるという事がありました。一時的なめまいだったので少し休んで事なきをえたのですが、無事に家に着いてから子どもたちに「驚かせちゃってごめんね…ママもう大丈夫だから」と声をかけると、

「ママ、つらかったねえ。」「ここでゆっくりおやすみしていいよ」とソファーに寝かせてくれました。お言葉に甘えて少し横になると、ブランケットをかけ、水を飲ませてくれる長女、保冷剤をもってきて頭に当てながらトントンと寝かしつけてくれる次女の姿がありました。

「ママ、ゆっくりしてね」「ちょっとがんばりすぎちゃったのかな」と体をさすってくれる2人の優しい言葉と寄り添ってくれる気持ちに思わず感動してしまい、ほっこりしていると…

姉：「〇〇（妹の名前）、ママがすこしでもさみしくないようにできるだけなかまをあつめてきて」

妹：「うん、わかった！」

と姉妹大作戦！？が始まりました。ポポちゃん、メルちゃん、動物たちのぬいぐるみが私の頭部、体の上、ソファーの下に敷き詰められていき、そのうち、「ごはんもあつたほうがいいねえ」「ママはきっとアイスもたべたいね」とままごと道具が並べられていき、私の周りがパーティー仕様に…。

終いには、折り畳み式のテーブルが出てきて、その上に学校のノートや音読カード、ドリル、赤鉛筆などが並べられていきました。

「ここにねたままでしゅくだいみられるようにしておくね」と耳元でささやく長女。

そんなこんなで結局休んではいられず、通常営業に戻った次第です(;'▽')

でも、毎日育児をしていると、日々バタバタしていて、どうしても自分の事は二の次な毎日になってしまうので、優しい言葉で寄り添ってもらえた事、深く心に残りました。

そして、果たして自分は優しく寄り添えているのだろうか…と言う思いが頭をよぎり、日々の自分を振り返って反省もしました。優しくしてもらった時の心地よく、安心できるあの空間を経験すると、自分も優しくなれる気がします。

優しさを真正面から受け取る事は、照れくささもありますが、言葉にしても行動にしても、優しくしてもらった経験は優しさを生むのかもしれない。

“もし、今自分が倒れてしまったら”というプレッシャーの中、日々頑張る皆様にエールを！！  
お一人で悩まず、私たちにできることがあったらいつでもお声掛けくださいね！

毎日の育児、お疲れ様です！